

関西電力が電力供給の努力をしないのは何故か、その背景には一体なにがあるのか？
大阪府市統合本部特別顧問としてエネルギー政策などに関わる元経済産業省官僚の古賀茂明氏

今は電力が足りないという脅しを続けて再稼動に向かおうとしている
「経産省と関西電力が一体になって進めている話だが、当初はプラン A というものがあって、それは3月11日、被災から1年、ここを過ぎたら喪が明けたということで早々に再稼動を決めてしまおうと。大飯原発3、4号機の再稼動をすぐに決める。決めても、国民は一年経ったら忘れてるよと。ところが実際には国民はそんなに甘くはなかった。
このままではいけないということで、第二段階として、プラン B に移った。
プラン B は、無理やり政府側が強行するのではなく、わざと時間をかけて、足りないじゃないか、足りないじゃないかと PR をして、そうするとそのうちに中小企業や自治体の中に、もう我慢ができない心配だから動かしてくれという声が出てくるだろうと。それを受けて分かりました、そこまで言われるんだったら動かしましょうと。これがプラン B。
ところがそれもやっていくうちに、大阪の戦略会議等から、もっと数字が出せるのではないかと、ひょっとすると足りるかもしれないぞという話にまでなってきた。
計画停電とか電力使用制限令など、新しい脅しを出してきてますが、今のところまだそれで原発を動かせるところまでいけるかどうか不安が残っているという状況だと思います。」
でもこれで終わらないんじゃないか。プラン C があるかもしれない
「最悪のシナリオなんですけど、何がなんでも原発を動かしたいということになると、たとえばいろんなところで火力発電所とかで事故とかが起こりますよね。これは可能性がそんなに低いわけじゃないんですね。そしたら、まあわざと起こすとか、あるいはわざとじゃなくても、何か事故が起きた時に「しばらく動きません」というようなことにして、突然もう電力が大幅に足りないというような状況を作り出して、まあ、パニックを起こす。
そうすると「いやぁもう動かすしかないじゃないか」という声があがってくるという、これ、プラン……とまでいうと言いすぎかもしれませんが、まあある意味プラン C ですね、これはもう、停電テロみたいなことまでまあなんかいくんじゃないかというくらいにですね。
要するに、去年から準備をしていけば、今も会議でいろんな数字が出てきていますが、これは去年の秋に議論している話なのです、それを今まで延ばしている。
つまりこれはなんとかして停電にもっていきたいというふうに思ってやってきたとしか思えないのです。
何故、今までやらなかったのか。需給検証委員会を何故4月にするのか、これ(政府の検討)は去年からやっている話です。すべてがぎりぎりを持ってきて、一応やったという形を作る、その繰り返しで、最後それでも追い込まれてきたら、そこまで今までわざとサボタージュしてきたなら、さらなるサボタージュもあるのではないかと疑いたくもなる。」

関西電力からのお知らせ

2012年5月17日

本日のテレビ朝日「モーニングバード」での、
今夏の電力需給に関する報道内容についての当社からのお知らせ

本日(平成24年5月17日)、テレビ朝日「モーニングバード」の番組内で、大阪府市統合本部特別顧問・古賀茂明氏の「火力発電所でわざと事故を起こす、あるいは事故が起きたときにしばらく動かさないようにして、電力が大幅に足りないという状況を作り出してパニックをおこすことにより、原子力を再稼動させるしかないという、いわば停電テロという状態にもっていかうとしているとしか思えない」というインタビューが紹介されましたが、当社として、そのような事を検討している事実は一切ありません。

当社は、引き続き、追加供給力の確保に最大限努め、電力の需給安定に向けた取り組みに全力を尽くしてまいります。

関西電力株式会社